

Human ヒューマン

2022.2 Vol.18

文化を学ぶ 世界と繋がる

CONTENTS

02 特集

現役学生が

先生に訊く

04 ダブル・ディグリー・プログラム
(北海学園大学・レスブリッジ大学)

05 人文学部の先生紹介 英米文化学科 教授 米坂 スザンヌ

06 ゼミ紹介

日本文化学科 徳永 良次 3年ゼミ (1部)
英米文化学科 田中 洋也 3年ゼミ (1部)

07 就活応援 4年生からの体験談

裏表紙 人文学部 TOPICS

ソーゴー印刷×中川町インターンシップ実施/
田中綾ゼミ(1部)が文芸誌を刊行/
「孤狼の血 LEVEL2」公開記念講演会を開催/人文学会第9回大会

表紙写真: 2021年度「ソーゴー印刷×中川町インターンシップ」の様子

先生に

訊く

大学ではどんな研究・授業をしているのか？
どうして今の研究テーマを選んだのか？
人文学部・岡田一祐先生と現役学生との
対談を通じてご紹介いたします！

人文学部日本文化学科 講師 岡田 一祐

2020 年から北海学園大学人文学部講師。専門は日本語学。著書に『ネット文化資源の読み方・作り方：図書館・自治体・研究者必携ガイド』（文学通信、2019 年）、『近代平仮名体系の成立：明治期読本と平仮名字体意識』（文学通信、2021 年）がある。

担当科目

- 1 年生「人文学基礎演習」＝ 大学での学びのスキルを指導
- 1～4 年生「日本語学概論Ⅰ・Ⅱ」＝ 日本語の仕組みを掴む
- 2 年生「人文学演習」＝ 現代に繋がる日本語の読解
- 3 年生「日本文化専門演習」＝ 現代に繋がる日本語の読解
- 3・4 年生「日本語学特論Ⅰ」＝ 近現代日本語上の研究トピックを探究
- 4 年生「卒業研究」＝ 卒業研究論文の指導

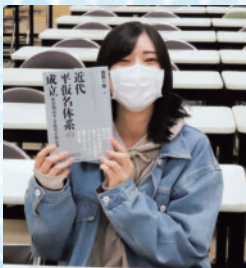
※「演習(ゼミ)」とは＝学生が主体的に参加する、少人数のクラス

インタビュー



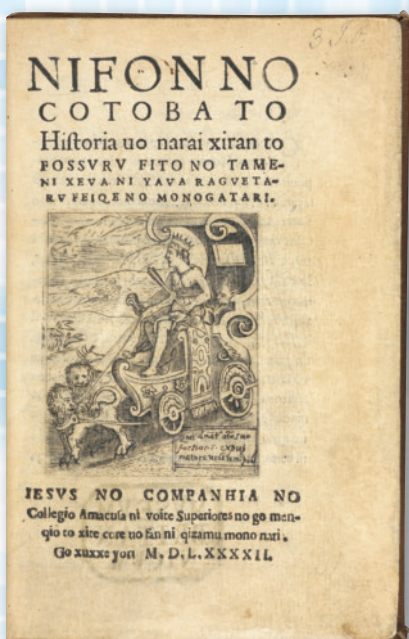
人文学部2部
日本文化学科4年・
岡田ゼミ

伊藤 あゆ



人文学部2部
日本文化学科4年・
岡田ゼミ

高橋 美咲



岡田ゼミの演習では、16・17世紀のキリシタンが、当時の発音のローマ字で著したインソップ物語を読んでいる
(大英図書館蔵 Or.59.aa.1)

I(伊藤)：さっそくですが、先生は日本語がご専門だと思うのですが、いつから日本語に興味があるんですか？

O(岡田)：いつからかは覚えていませんね。私の専門は文字、とくに平仮名なのですが、子供のころから文字は好きで、そのまま大きくなってしまった感じです。

T(高橋)：大学生のときの専攻も文字だったんですか？

O：大学生のころは、古い活字に興味があり、近代初期の活字資料や、もっとも古い日本語の活字である、キリシタンたちの作った活字について調べていました。たとえば、この『落葉集』という1603年に出版された本などがあります。

I&T：これ、見たことある！

O：この時代は、変体仮名(注)と今ではよばれるものがいっぱいあり、それをどうやって活字という形にしていっただかに興味がありました。そもそもお二方は、活字を見たことがありますか？

I&T：活字ですか……？

O：北海道開拓の村にありますよ(注)。活字は、いまではすっかり使われなくなりましたが、ながらく重要な印刷技術でした。あらかじめ文字の原型を作り、それを大量に複製しておいて、いざ印刷するとき、必要な文字を出してきて、組み合わせて版画の版木のようにして、印刷するんです。ですから、仮名の種類がいっぱいあるということは、用意するものもいっぱいあるし、どれを用意したらいいかわからないということになりますよね。それがとても不思議だったんです。そこから紆余曲折を経て、いまの専門にたどり着きました。

T：先生のゼミでは文字をやらなきゃダメですか？

○：そんなことはありません。日本語に多少なりとも関心があれば是非来てください。

！：先生の学生のころはどんな学生でしたか？授業とかはどう取っていたんですか？

○：もともと研究者になりたかったのですが、就活もあまりせずにのんびりと勉強していました。講義や演習は、取りたいもの、取っておくとよさそうなものしか取っていませんでした。ふとしたことが気になってどんどん調べていけるのは、いまの専門につながるようなことがらでしたね。正直、なにをやっているのか途方に暮れたレポート課題などもあったなと思います。室町時代のそこまで名の知れていないお坊さんの事跡とか……。

T：思い出に残っている科目はなんですか？

○：わたしにはとても真似できないのですが、日本語の文法の歴史を教えてくださいました先生の講義はいまでも覚えていますし、ああいう丁寧な授業をしたいなと思いますね。言うは易く行うは難しですが。指導教員のゼミは、課題の量と発表時間の長さをいまでも覚えています。たいへんでしたが、そのとき、資料を丁寧に読み込む面白さを教えられましたね。みなさんにお伝えできているか心許ないのですが、演習の準備で調べてもらっている、『日本国語大辞典』（注）のひとつひとつの項目を読み解くだけでも、言葉の歴史を感じることができます。みなさんが演習で読んでいる資料も、文法は現代文に近いけど、読み方も語彙もいろいろ違うというところで、単純に一語一語の歴史だけでなく、その時代の言葉というものが、いまと比較できて面白い。もちろん、私も、調べさせられてるだけから、言葉の歴史を感じられるようになるまでは、多少時間がかかりましたけどね。

！：それがこのまえお出しになった本にどうつながっていくんでしょう？

○：先日、『近代平仮名体系の成立』（文学通信、2021年2月）という本を出版しました。これは、さきほどの変体仮名がどうやってなくなって、いまの平仮名ができあがったのかをまとめた本です。そういうことは、当然分かっているんだろうと思われるがちなのですが、案外細かいところがつながっていないことが多く、いろいろな資料を探し直して、具体的にしてみたものです。おふたりは、「いろは」って聞いたことありますか？

I&T：はい。

○：「いろは」というのは、江戸時代まで子供がまず平仮名を習うお手本でした。このお手本に使われた平仮名が今の平仮名につながっていくわけですが、あくまで文字の形を把握するためのものだったので、大きくなればこの仮名以外、つまり変体仮名も覚えなければならない。それが、明治時代に入って、義務教育が始まり、1900年に、「この平仮名だけを覚えればよいですよ、それ以外は変体仮名ですよ」となったのが今の平仮名となるまでの流れなんですね。今まで、その辺が意外にもあやふやなことだらけだったので、整理してみたということです。

！：最後に、学生にひとこと。

○：古いものであれ、新しいものであれ、資料を読むことを通じて、その時代の人の生き方とか、その時代の言葉とかいうものが、頭のなかで想像できるまで、丹念に調べ上げながら、一緒に読んでいけたらいいな、それが人文学部の学びかなと思っています。どうぞお待ちしております。

（2021年4月実施）

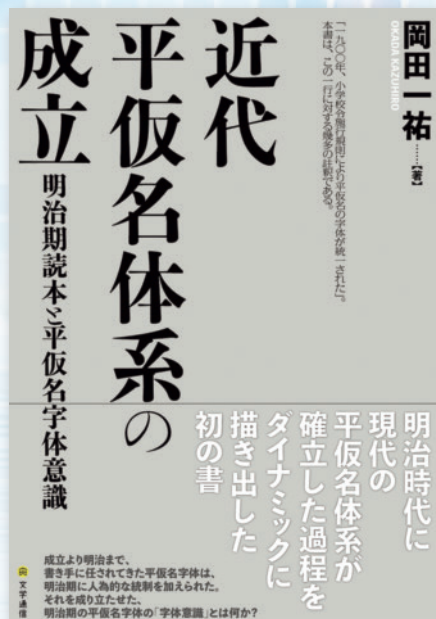
変体仮名…1900年に廃止された平仮名の形のこと。かつては、同じ音を表す平仮名が複数あり、蕎麦屋の暖簾などにその跡がある。

北海道開拓の村の活字…旧小樽新聞社屋内に活字を使う印刷所がある。

『日本国語大辞典』…小学館から刊行された日本最大の言葉の歴史の辞書。いつから・どんな意味で使われてきたかが端的にまとめられている。



2019年の著「ネット文化資源の読み方・作り方」（文学通信）



近著「近代平仮名体系の成立」（文学通信、2021年）

ダブル・ディグリー・プログラム (北海学園大学・レスブリッジ大学)



レスブリッジ大学に長期留学し、両方の大学の卒業を目指すプログラムができました!

Double Degree Programとは?

最短5年間で2つの大学から学士学位を取得できる制度です。二つの学位(Double Degree)を取得できるプログラムですのでDouble Degree Programの名称となりました。

メリットその1:北海学園大学でしっかり準備してから長期留学し、カナダの大学を卒業できる。
メリットその2:カナダ・日本両方の大学を卒業することで、その後の選択肢が広がる。

【学費・生活費】

- ・レスブリッジ大学の授業料は北海学園大学よりかなり割高なため、それを補助する制度の創設を計画しています。
- ・生活費は自己負担ですが、札幌で一人暮らしをするのと同じくらいです。

【いつ・どのように選抜されるのか】

- ・毎年秋に募集を開始し、選考のうえ、年末には派遣する学生を決定します。その後、準備を経て、翌年の夏に出発します。
- ・出願時の条件は、次の通り。

英語力:TOEFL iBT 70またはIELTS 6.0以上(TOEIC 750、英検準1級程度)

※英語「を」学びに行くのではありません。英語「で」専門分野を学んで卒業するプログラムです。

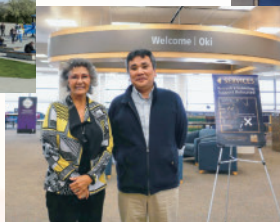
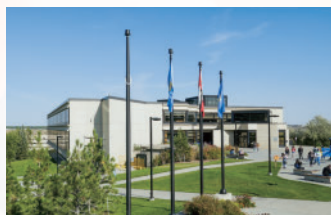
「行く前に」高度な英語力を身につける必要があります。

既修得単位数:1部は学期数×20単位、2部は学期数×15単位

※渡航時点で1部生は100単位、2部生は80単位以上取得していなければなりません。

GPA:2.5以上

- ・出願時には、成績証明書、英語力の証明書の他に、志望理由書(英文で1,000語程度)を求めます。
- ・そのうえで、日本語・英語で面接を行い、意欲と適性を確認します。



〈レスブリッジ大学〉

レスブリッジ大学は、1967年に創立されたカナダ西部アルバータ州レスブリッジ市の州立総合大学です。一般教養課程に加えて、文理、経営、教育、芸術、健康科学の5つの学部と大学院(修士課程・博士課程)で教育が行なわれ、220以上の多彩な学部および大学院の専攻分野を有します。在学生は約8700人で、世界中から留学生を受け入れています。北海道がアルバータ州と姉妹州の協定を結んでからレスブリッジ大と北海学園大との交流が始まり、1986年以来学生・教員の研修・留学等による交流を行っています。

2019年度レスブリッジ大学短期(1年以内)派遣学生体験談

人文学部2部英米文化学科(2021年3月卒業) 清平 樹さん

私は2019年5月1日から12月21日までアルバータ州にあるレスブリッジ大学に交換留学をしていました。フィリピン出身のホストファザーとカナダで生まれ育ったホストブラザーに加え、一度に二人のシェアメイト(ベトナム人と、入れ替わりでメキシコ人と韓国人)と過ごしたレスブリッジは異文化を知るには刺激的で素晴らしい環境でした。留学前にマイノリティになることで疎外感を感じるのではないかと考えていましたが、多種多様な文化背景を持った人が多くいるので全く問題ありませんでした。英語が第二言語であることに理解のある方も多くいたので、安心して練習することができました。

レスブリッジが比較的小さな街であることもあり、仕事と休みに緩急のある充実したスローライフを送っている人や精神的に豊かで人情味のある温かい人が多い印象です。札幌で生まれ育った私にとって慌ただしい都会の生活から一度離れることは貴重な体験であり、理想のライフスタイル像が見えてきたと思います。また、欧米的な直接的なコミュニケーションと日本の間接的なコミュニケーションを比較して両者の長所と短所を実感し、対人関係について深く考えるようになりました。

私の留学期間は約8か月という短い間でしたが、良い友人にも恵まれ、帰国したくないと思うほど有意義な時間を過ごしました。カナダの自然や文化に触れながら日本ではできない貴重な体験ができるので、しっかりと目標を持って留学ができると考える人はぜひ挑戦してみてください。





人文学部の先生紹介

人文学部の先生たちはさまざまな分野を専門とし、研究と教育を行っています。このコーナーでは、人文学部の先生を紹介します。

今回は米坂スザンヌ先生にアメリカでの大学生時代から、これまでのご経験をお話していただきました。

College life, Then and Now

人文学部英米文化学科 教授 米坂 スザンヌ

私は大学生の時、米国の公立大学トップ10に入るカリフォルニア大学サンタバーバラ校（UCSB）でフランス語を専攻していました。キャンパスは海に囲まれて美しく、ユーカリと潮の香りが漂っていました。夕方になると学生たちは海岸に集まり、夕日を見ながら太極拳や楽器の練習をしていました。何十年も前の私の大学生生活は、今の学生たちとさほど変わらなかったように思います。多くの楽しい授業といつかの退屈な授業があり、親切な先生と距離を感じてしまう先生がいました。友達との時間を楽しみ、勉強と大学図書館でのアルバイトの両立に励む毎日でした。私が家族の中で初めての大学進学者だったので、良い成績を取るプレッシャーがありました。1970年代と現在の学生生活の最も大きな違いは、インターネットもスマホもなかったことです。



Discussion_1975

1年生の時は、一般教養科目で微積分、人類学、宗教学、中世美術、音楽などを興味深く学びました。ただ、当時はネットで調べられる環境はありませんでしたが、例えば先生が特定の文学作品を指定するとき、その作家の情報や重要性を既に理解していることを求められた

ので苦勞しました。講義の内容が西洋の白人男性中心で不満に感じることもありました。マーガレット・ドゥラブルやA・S・バイアットなどの心を動かされる女性作家たちに出会えたのは、大学院に進学してからでした。最近では、レポート作成も便利になりました。私の頃はまだワープロがなく、レポート作成は大変な作業でした。タイプライターでは打ち間違いが許されず、用紙を切り貼りして修正をするのは当たり前でした。はさみで間違いのある段落を切り取ってテープで新しい紙を貼り付け、長いパッチワークのような紙を作成してから、また打ち直していました。

2年生の時のフランス語の外国語学習では、代表的なフランス文学作品の読解が中心で、20世紀のフランス文化や日常生活についてはほとんど学ぶことができませんでした。今では、学生たちがYouTubeやネットのニュース記事などのオンライン情報を活用して、英語を驚くほど上達させていることがあります。大量の英語のインプットにより、日本語と英語の使い分けも上手で、多くの学生が英語以外の言語にも挑戦しています。友人とのコミュニケーションも現在とは異なります。当時はスマホやSNSなどの連絡手段がなく、友人を探せないこともありました。UCSBの学生たちは、より安く良い部屋を求めてアパートを転々とし、また、カリフォルニア大学の他のキャンパスに転学することもあったので、実家の住所を覚えてもらう必要がありました。それでも、バースデーやクリスマスなどのポストカードによる文通で関係をつなぎ、現在まで続いている友人もいます。

大学3年生の時、フランスのモンペリエ第3大学に留学しました。大学では学生運動によるストライキに邪魔され、勉強に集中することが困難でした。年末にはフランスの大学のカリキュラムが教養課程から専門課程へと変更されたことに全国の学生が抗議し、授業が全面的に中止となりました。政府は科学者を増やし、哲学者を減らそうとしたのです。私は仲間と一緒にデモ行進し、警察から投げられた催涙ガス弾を振り切りました。

まもなく、私は他の国からの留学生たちと休講を利用して旅行に出かけることにしました。当時は旅行も全く異なる経験で、人からの情報を頼りに漠然とした計画を立て、行き先を決めました。フィレンツェでは、ルネサンス美術を鑑賞したり、鳩に餌をあげたりしました。ドブプロニクでは、城壁の中でおじいさんとエスペラント語で会話をしました。ストックホルムではスカンセン

を訪れ、祖母はスウェーデンのどの地域から来たのか思いを巡らせました。おばあさんたちが若い学生バックパッカーの集団を駅で出迎えていて、私たちはその晩に泊まる部屋を借りました。おばあさんたちは夜になると家族の写真を見せてくれることもあり、私たちは共通の言葉が見つかるまでいろいろな言語を試して、コミュニケーションを図りました。グーグルマップも翻訳アプリも計画もなく、旅で頼りにしたのは見知らぬ人の優しさと運でした。

その1年間は長く自由な冒険をしました。貯金で暮らしていた私は、節約するために温かい食事を取ることはほとんどありませんでした。おばあさんの空き部屋だけでなく、ホステルや駅、宿泊場所が必要な女性を保護するヴェネツィアの修道院などで寝泊まりしました。現在海外で生活する学生でも、1年間であれほど多様な経験をすることは難しいと思います。コロナの流行が終わり、学生たちが再び海外に行くことができるようになることを願います。

大学4年生のとき、私はUCSBに戻り、別の外国語に挑戦することにしました。たまたま中国語とロシア語の初級コースは時間割に合わず、日本語のコースの履修を決めました。運命とはそんなもので、望月先生が私に初めて日本語を教えてくれました。簡単なあいさつと単語を教わった後、近々ひらがなのテストがあると知らされました。私は教科書にある一知の表だけを頼りに勉強していたので、もしテストで違うフォントが使われていたら、たぶん落第していたと思います。そして数年後、私はロサンゼルス市の公務員として比較的高給で安定した仕事を辞め、札幌で英語を教えることになりました。地下鉄の広告からひらがなを見つけ、いくつか漢字も拾って読めたときは、本当に嬉しかったです。

45年経った今でも日本での生活は、まるで終わりのない日本語学習のように感じる場合があります。出産と育児、町内会活動、大学教員生活の中で、新しい言葉を身につける必要がありました。今後は、退職後の生活と医療・福祉に関する言葉を学ぶ必要がありますが、今度はオンライン情報やGoogle翻訳などのツールが助けになるでしょう。

最近では、コロナのパンデミックの際に授業がオンライン化され、テクノロジーが重要な役割を果たしています。私が教えている英語音声学はオンラインに適していて、現在オンデマンドで教える一方、オプションでZoomによる発音トレーニングセッションを少人数で十分なサポートをしながら指導することができています。

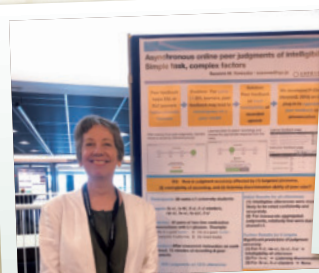
生涯現役の語学学習者として、先生からの励みやその言語を話す人との偶然の出会い、海外生活でコミュニケーションが取れたときの満足感は、何物にも代えがたいものだと思っています。インターネットのおかげで、祖母がスウェーデンのどの地域から来たのか知ることができました。いつの日かヨーロッパに行き、スマホの地図や言語アプリを駆使して自分のルーツを探ることを楽しみにしています。



Europe_1976



Ishinomaki_2013



Belgium_2019



Old_Friends_2019

Seminar No.31

日本文化学科

徳永 良次
3年ゼミ(1部)
【日本語学】



私のゼミでは、古今和歌集の写本のひとつである『伝公任本古今和歌集』をテキストとしています。『古今和歌集』は、西暦900年前半に成立した、日本で最初の勅撰和歌集ですが、原本は失われ、写本しかありません。

しかし、『古今和歌集』は平安時代に写されたものだけでも十数種類も存在しており、しかも同一の本文を持つものはありません。つまり、『古今和歌集』の本当の姿、本来どのような本文を持っていたのかは現在残されている写本を比較していくしかないのです。今回取り上げた『伝公任本』は新発見のもので、全巻完備した最古とされる資料です。私たちの目指すところは非常に高く険しいもので、その頂上には結果的に何もないのかも知れませんが、とにかくやってみようということで長期戦を覚悟で取り上げています。

ゼミの3年生は、まず「くずし字」という近代以前に使われていた文字を読む訓練をし、3首程度の割り当てを決めて、伝公任本と従来知られている平安時代の『古今和歌集』古写本とを、すべて比較し



ていき、それらの関係(親疎関係)を検討していきます。

ゼミでは一見退屈で、機械的な作業が続く比較研究を通算10年近く続けています。それでも、まだ、『古今和歌集』が20巻あるうちの4巻に辿り着いたばかりです。ただ、この作業を通して学んで欲しいことは一貫しています。つまり、本当の学問(研究)はパソコンの画面にあるのではなく、一瞬のクリックとコピー&ペーストで出来るものではない、ということです。

私としては、この作業・研究を通して4年生になって自分のやりたいテーマを丹念に検討していくことで納得のいく卒業研究を作成して欲しいと考えています。

ゼミ紹介

Seminar No.32

英米文化学科

田中 洋也
3年ゼミ(1部)
【外国語学習・外国語教育】



このゼミは「より良い外国語学習者・使用者」「より良い外国語教師」をテーマにしています。授業では、第二言語習得研究に関する基本的な英語文献をもとにした議論、各自の自律学習のふりかえりの活動、卒業研究に向けた研究計画を行ないます。卒業研究では、主に言語学習、言語教育、言語使用分析などをテーマとして扱います。最近では「大学生英語学習者の留学経験とスピーキング・リスニング学習方略使用の関係」「ディズニー・アニメーション映画を用いた英文法学習の可能性」「韓国人日本語学習者の学習年数・習熟度別学習スタイル」などのテーマがありました。

幼少期からの成長過程で、また生活の中で身につける母語とは異なり、多くの人にとって、第二言語(外国語)の習得は困難を伴ったり、多くの時間を要するものです。また、その習得には、学校で行われる授業を越えた自律的な取り組みが不可欠です。学校教育での英語学習では、自らが満足できる習熟度に達することなく学習を終える人も多くいます。このゼミでは、学習者



として自らの外国語学習の目標を考え、目標の達成に向け、学習を認知(学習)・情意(気持ち)の両面から統制するには、どうすべきなのかを文献や議論を通して学んでいきます。また、外国語教師は学習者にどのような学習支援を提供すべきかについても検討します。

ゼミには、在学中に留学や海外渡航を目指す学生も多く、協定校プログラムによる留学の成果や留学経験に基づくテーマから卒業研究に取り組む人もいます。学生の皆さんが、新たな知識を得る、人と知り合う、それにより自己を成長させる礎となる外国語学習について考えることができるゼミであるよう願っています。

就活応援



4年生からの体験談

執行 佑佳

日本文化学科1部
北海道大学事務系職員 内定



予備校で事務のアルバイトをし、学習環境を整備する仕事に興味を持ったこと、ゼミナールの教授には研究課題や就活の面で大変お世話になったことから、研究活動を支援したいという思いが強くなり、大学職員を選択しました。

就職活動をしていく中で、周りから内定が出た、就活を終えたという話を聞くと不安や焦りが出てくるかもしれません。そんな時こそ人と比較せず自分のペースで無理なく進めていくことが大切だと思います。コロナ禍で不安なことが沢山ありますが、自分を信じて頑張ってください！

沢谷 紀香

英米文化学科1部
北海道科学大学高校
英語科教員 内定



元々は道立の教員を目指し教授に向けて勉強しており、一部の試験を免除するために TOEIC 等資格の勉強も並行して行っていました。選択肢の一つとして受けておく、くらいの気持ちで私立の高校も考え始めました。勤務地や環境、これからのビジョンを考慮し私立の高校で働くことを選択しましたが、どちらで働くにしろ教授のための勉強はしておくべきだと今振り返って思います。

部活動、大会成績、資格等面接で話せる多くの“武器”を大学生活で培ったことが自分の就活に有利に働きました。大学生生活全てを就活のために過ごせとは思いませんが、少しでも意識しておくといつか自分を助けてくれるかもしれません。

石川 伊万里

英米文化学科1部
FedEx 内定



コロナ禍の就職活動で志望業界の変更を余儀なくされましたが、結果的に志望していた企業に内定をいただきました。就職活動中は不安になることも多いですが、人と比べず自分の軸をもって時には周りを頼ることも大切です。

また、留学や海外インターンなど色々なことに挑戦してみるといいと思います。初めてのことで難しい局面もあると思いますが自分のペースで肩の力を抜きつつ頑張ってください。

酒井 信貴

日本文化学科1部
福岡市中学校
国語科教員 内定



子供と関わるのが好きで、入学当初から教員志望でした。新たな地域で、自身の視野を広げ、GT（グレートティーチャー）になるために北海道を出る決心をしました。

大学生活では、自身の興味の無い分野に飛び込み、知識経験を養い、その集大成として、教員採用試験に臨みました。正直、辛かったです。2カ所の教員採用試験を受けたので、勉強も試験日程も、またコロナ禍ということもあり、大変なことしか無かったです。就活は、自分自身との戦いです。

中村 咲貴

英米文化学科1部
ツルハホールディングス 内定



私は「人々の生活に寄り添える仕事」を軸として、業種を絞らずに就職活動を行いました。コロナの影響で採用中止となる企業やオンライン面接等、新しい状況に不安を抱えながら就活を進めてきましたが、大学2年生の2月から職業講座を受けたり、自己分析をしたりと早めに行動していたので、企業に伝えたい思いを明確にして面接に臨むことができました。面接では自分を着飾らずに素の自分を見せることが大切だと感じたので、そのためにも自己分析は早い段階から丁寧に取り組んでほしいと思います。

キャリア支援センター

92,000名超の卒業生を輩出してきた豊富な経験や情報を背景に、1年次から学生のキャリア形成や就職活動をサポートするのがキャリア支援センターです。民間希望学生と公務員希望学生それぞれに合ったスケジュールでガイダンスや各種セミナーを年間500コマ以上開催。また多くの企業がキャリア支援センターを来訪し、年間8,000件以上の求人を学生へ公開しています。個別相談にもきめ細かく対応し、面接練習や書類添削なども行っています。

人文学部 TOPICS

ソーゴ印刷×中川町インターンシップが実施されました

2021年8月から11月にかけてソーゴ印刷×中川町インターンシップが実施され、4名の学生（日本文化学科2年の大橋弥生さん・杉本真帆さん・3年の佐藤匠さん・4年の福田さとみさん）がインターン生として活動しました。このインターンシップは、本学部とソーゴ印刷株式会社が2018年に結んだ連携協定に基づき、2019年度から実施されているものです。

今回は、中川町役場や中川町地域開発振興公社などのご協力の下、①オンラインを活用することで、仕事（インターン生は講義の受講）をしながら地方の生活を楽しむ（バケーション）、「学生版ワーケーション」を体験するとともに、②町の温泉施設の未使用スペースを活用したバー（「星屑バー」）の企画・運営に取り組みました。

学生たちは、8・9月に開催されたオンライン会議で「星屑バー」運営に関する提案をし、10月6日から16日の日程で中川町での現地実習に臨みました。現地では日中、オンライン授業を受けつつ、森林散策・まき割りといった町のプログラムに参加し、夕方からは「星屑バー」の開店準備や調理・接客に携わりました。

実習後には、成果報告会がオンラインで開催されました。町の方々の暖かさに触れながら、本物の仕事体験と普段はできない生活をしたことで、学生たちには多くの気づきがあったようです。



田中綾ゼミ(1部)が文芸誌を刊行しました



日本文化学科1部の田中綾ゼミが、文芸誌『あやいと』を刊行しました。2010年度から毎年度、ゼミ教室名にちなんで『A207』の名で刊行を続けてきましたが、教室が変更になったこともあり、10号を区切りで改名することになりました。『あやいと』創刊号は、ゼミ生の単独小説のほか、チームに分かれてのリレー小説、ゼミでの研究発表の資料抄録など、盛りだくさんの内容になっています。

なお、『A207』・『あやいと』、2部ゼミの『道標（どうけい）』は、札幌市中央図書館・北海道立図書館・北海道立文学館で閲覧できます。

「孤狼の血 LEVEL2」公開記念講演会を開催しました

2021年7月28日、大石和久教授の講義科目「日本映画論」の一環で、劇場公開を間近に控えた映画「孤狼の血 LEVEL2」の監督白石和彌さんと原作者柚木裕子さんを講師にお迎えし、講演会を開催しました。お二人には、映画と小説の表現方法の違いや、物語が持つ力について対談形式でお話いただき、受講生からの質問にも答えていただきました。最先端を行くお二人の考え方・見方に触れて、受講生は映画という表現方法に対する理解を深めることができました。



人文学会第9回大会

2021年12月9日に、第9回の人文学会大会を開催しました。昨年度本学に着任した2名の教員が登壇し、自身のこれまでの研究の概要と、これからの展望を報告しました。

「借金の帳消しは、なぜ「徳」政なのか」

片岡耕平（北海学園大学人文学部日本文化学科准教授）

「演技音声の表現にあらわれる

ジェンダー差のイメージ」

丸島歩（北海学園大学人文学部日本文化学科准教授）

ヒューマン 2022.2 Vol.18

表紙キャッチコピー：

文化についての深い理解を涵養することが異文化社会に生きる人々と真のコミュニケーションを結ぶ力になる、という人文学教育の理念をあらわしたものです。

文化を学ぶ 世界と繋がる



北海学園大学人文学部 日本文化学科(1部・2部)／英米文化学科(1部・2部)



〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 TEL.011-841-1161(代表) FAX.011-824-7729 URL <https://human.hgu.jp/>

制作・印刷：(株)アイワード PD：馬場康広 [(株)アイワード 2000年人文学部日本文化学科卒]